

メケ・メケ

【訳詞】薩摩 忠

【作曲】G・ベロー

□□□

船が錨下ろしている マルチニツクの波止場
岸壁には山のようには 荷物が積まれていた

かたわらの居酒屋には
黒ん坊の手に抱かれた

可愛い娘すすりあげて 別れを惜しんでいた

※メケ・メケ メケ・ケスクセ

それがどうしたのさ

メケ・メケ よくある恋の終りさ

汽笛の音船出を告げ 別れをせきたてた

苦しいほど胸は乱れ なすすべも知らずに

この私一人じゃ とても生きて行けないと

すがる娘つれなく捨て 男は船に乗った

※（くり返し）

船はやがて岸を離れ 静かに動き出した

船の上で波止場にいる 娘を見つけた時

だし抜けにこの男は 波に身を躍らせて

鯨の群れを尻目につけ 波止場に泳いだのさ

メケ・メケ メケ・ケスクセ

それがどうしたのさ

メケ・メケ 南の島は新しい朝を迎える

恋の結ばれた朝を

メケ・メケ

【訳詞】薩摩 忠
【作曲】G・ベロー

□□■

1.
船が錨下ろしている
マルチニツクの波止場
岸壁には山のよう
に荷物が積まれていた
かたわらの居酒屋には
黒ん坊の手に抱かれた
可愛い娘すすりあげて
別れを惜しんでいた
メケ・メケ メケスクセ
それがどうしたのさ
メケ・メケ
よくある恋の終りさ

メケ・メケ

【訳詞】薩摩 忠
【作曲】G・ベロー

2.

汽笛の音船出を告げ

別れをせきたてた

苦しいほど胸は乱れ

なすすべも知らずに

この私一人じゃ

とても生きて行けないと

すぐる娘つれなく捨て

男は船に乗った

メケ・メケメ・ケスクセ

それがどうしたのさ

メケ・メケ

よくある恋の終らさ



メケ・メケ

【訳詞】薩摩 忠
【作曲】G・ベニー

3.

船はやがて岸を離れ
静かに動き出した
船の上で波止場にいる
娘を見つけた時
だし抜けにこの男は
波に身を躍らせて
鮫の群れを尻目につけ
波止場に泳いだのさ
メケ・メケメケ
それがどうしたのさ
メケ・メケ 南の島は
新しい朝を迎える
恋の結ばれた朝を